

GPA及び学業成績の評価について

厳格な成績評価のため、平成17年度入学生より、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しました。GPA 算出の対象科目は、履修をしたすべての授業科目（卒業論文・制作等を含む）とします。ただし教職課程科目及び学芸員課程科目のうち、学科の課程修了に必要な授業科目は対象としますが、その他の教職課程科目及び学芸員課程科目、海外留学などの認定科目は対象としません。

1 成績評価基準

成績評価	素点	内容	係数	
合格	S	100～90点	特に優れた成績	4
	A	89～80点	優れた成績	3
	B	79～70点	妥当と認められた成績	2
	C	69～60点	合格と認められた成績	1
	D	59点以下	不合格	0
	E	—	受講登録したが、試験欠席、出席不良などにより成績を示さなかったもの(※)	0
	P	—	受講登録後、決められた日までに中止手続(受講削除)を行ったもの(※)	—
N	—	修得単位として認定されたもの	—	

2 GPA 計算式 (算出方法)

科目担当教員から提出された採点表の素点から成績評価を導き出し、その評価に該当する係数に各科目の単位数を掛けたものがポイント数となり、ポイント数の総計を総履修単位数 (D, E の単位数も含める) で除したものが GPA となります。GPA は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。なお、P (受講中止)、N (認定科目) は GPA に算入しません。

$$\frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修単位数 (D, E の単位も含める)}}$$

(※) 受講登録したが、受講を中止・変更する場合は、必ず5月の決められた日(後期科目は10月の決められた日)までに手続き(受講削除)をしてください。中止手続き(受講削除)した場合、成績評価はPとなりますが、受講削除をしなかった場合、成績評価はEとなり、該当するポイント数は0となりますので注意してください。

3 GPA は、当該年度の学期及び年間、並びに入学からの累積 GPA が算出され、成績発表時に配布する単位履修票に記載されます。

4 通年科目は、後期の履修科目と併せて算出します。

5 成績証明書には、合格した科目の成績 (S, A, B, C) 及び認定科目 (N)、累積の GPA を記載します。

6 授業科目を再履修して単位を修得した場合、以前の合格に至らなかった授業科目の単位数は累積 GPA の分母には算入しません。

7 不合格科目となり再度その科目を履修する場合は、次の年度に当該科目の受講届を提出し、再受講しなければなりません。

8 合格点を得た科目は再度受講をすることは出来ません。

9 定期試験において不正行為を行った場合は、処分を受けた条件に基づき、評価「E」、係数「0」として取り扱います。